

対戦型ゲームの遊び方

対象：2人

目的

ゲームの目的

ネズミの兄弟同士でチーズを取り合います。ゲーム終了時に一番ポイントの多い人が勝ちです。

学習効果

手持ちカードから ㊦主語 ㊧直接目的語 ㊨述語 を出し合って、1つの文を作ります。

ゲームを進めて行く中で、主語述語を判断する力が身についていきます。

準備

- ① 参加者はそれぞれ、自分がどのキャラクターになるかを決め、目印として自分のキャラクターの**ライフカード**を見やすい場所に置きます。(ネズオ、チョコ子、チュー太郎のうち2つのキャラクターを使って遊びます。)
- ② 手持ちカードは、
㊦主語：2人×4枚
㊧直接目的語：2点×4枚、1点×4枚
㊨述語：あげる×4枚、もらう×4枚
これら合計24枚をひとまとめにしてシャッフルした後、2人に配りぎります。
- ③ 回復カードの小さなチーズと薄いチーズを1枚ずつ2人に配ります。



ゲームの進行

- ① ジャンケンなどで順番を決めます。先攻の人から1枚カードを出します。
- ② 後攻の人は、別の品詞のカードを出します。
- ③ 3番目は先攻の人が、残りの品詞のカードを出します。
- ④ 3種類のカードが揃って1つの文が完成したら、その指示に従って回復カードをプレイヤー間で移動します。左の例の場合、「ネズオは薄いチーズをあげる。」という文ができあがります。この時にネズオが薄いチーズの回復カードを持っていれば、相手にそのカードをわたさなくてはなりません。

ただし、該当者が指示と同じ回復カードを持っていなかったら、回復カードのやりとりは発生しません。

※「チュー太郎は小さなチーズをもらう。」という文が完成したとき、

相手が回復カードの小さなチーズを持っていなかったら、チュー太郎は回復カードをもらうことはできません。

- ⑤ お互いの手持ちカードが無くなった時点でゲーム終了です。その時点で回復カードの点数が多い方の勝利となります。



+



+



- ④ 3種類のカードが揃って1つの文が完成したら、その指示に従って回復カードをプレイヤー間で移動します。左の例の場合、「ネズオは薄いチーズをあげる。」という文ができあがります。この時にネズオが薄いチーズの回復カードを持っていれば、相手にそのカードをわたさなくてはなりません。

「勝敗よりも、まずは主語述語の勉強重視！！」

という人は、協力型ゲームをどうぞ。

ホームページでは、詳しい説明とその他の遊び方も紹介しています。HP : lonely-sensei.com